

# 聴講（実技）歓迎

## 鍼・温灸&経絡按摩・関節運動法

毎月（8月休講）、第2日曜日、経絡按摩と関節運動法（関節運動学的アプローチ・AKAに経絡を応用した整体）の実技を中心とした講習会を行っております。

按摩は、揉捏だけでなく指圧も重視して行っておりまして、関節運動法とともに気持ち良くて効く治療手技です。

また、午前中、00番鍼と温灸の研究会も行っております。

- ・午後1時～5時 経絡按摩・関節運動法講習会（実技のできる服装になって下さい）

1回の受講費用 5,000円（当日、会場でお支払い下さい）

- ・午前10時～12時 鍼・温灸研究会（持ち物：1寸3分の鍼管とシャーレー。00番鍼は当会で用意しております）

1回の受講費用 2,500円（当日、会場でお支払い下さい）

- ・連絡先：田中鍼灸指圧治療院 電話・FAX03-3475-4632

- ・講習会場：総評会館501号室（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

地下鉄・千代田線・新お茶の水駅0分（出口B3）

◎田中会長、医道の日本社から按摩のDVD『よくある症状への手技療法』が出版されました。

按摩



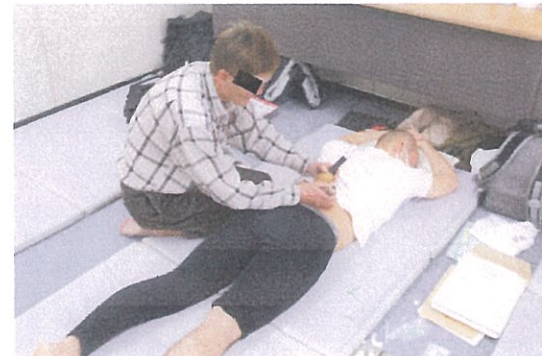
鍼



関節運動法



温灸



### 1. 鍼灸治療・臨床発表

#### ●足の裏がほてる 女性 53歳

足の裏がほてって冬でも靴下を履かず、素足でブーツを履いている。

触ると足底部は熱いがアキレス腱からふくらはぎは冷えている。腰部では右志室穴に硬結・圧痛があつて、右京門穴から腸骨稜にかけて冷えている。

#### 治療

足部の然谷穴と京門穴に1寸・00番鍼を刺鍼して響かせて置鍼。右志室穴に1寸6分・0番鍼を刺鍼して、我慢できる限界まで強く響かせて置鍼。この患者さんは痛みに強い人で、ウツと唸るまで回旋・雀啄を繰り返して行う。温灸は2本、持って1本は志室穴を温め続ける。もう1本は腰部の冷えている京門穴から下方と足のアキレス腱部の冷えている所を温める。右側の腰と足の治療時間は最初の診断按摩から含めて30分くらいである。反対側にも同様に、時間にして15分くらいの治療を行う。

胃が動いて臍の部位が温かくなる。

治療をした日の夜は足のほてりがないので、最初から足に布団を掛けて眠れる。次の日の朝、いつもよりも排尿量が多くて尿の色が濃い。治療をすると3～4日は足のほてりを感じないで体調がよい。食べ物は中華料理が大好きである。塩分と油で腎が弱ってほてりが起こっていると推測される。

### 2. 関節運動法

#### ●第12肋横突関節と第11肋横突関節の研究

##### ①第12肋横突関節

第12肋横突関節は腎に関係の深い関節である。

側臥位(左右の12肋骨端の京門穴の圧痛を調べ、圧痛の強い方を上に側臥位になる)腎経募穴・京門穴の代用として使える臍の横、1～2cmにある盲兪穴の硬結と圧迫不快感を調べておく。また足関節を底屈・背屈して腓腹筋の強張り感を調べる。

第12肋骨が横突起部に関節しているところの外側部、すなわち脊中起立筋の外側部で、12肋骨の下縁に手指あるいは手根の豆状骨を当てて頭方に圧迫して滑り法を行う。

この手技を行いながら盲兪穴を圧迫すると硬結が柔らかくなって圧迫不快感が軽減し、足関節の底屈・背屈を行うと腓腹筋の強張り感が軽減していることが分かる。

##### ②第11肋横突関節

第11肋横突関節は脾に関係の深い関節である。

側臥位(左右の11肋骨端の章門穴の圧痛を調べ、圧痛の強い方を上に側臥位になる)脾経募穴・章門穴の代用として使える中腕穴あるいは腹哀穴の硬結と圧迫不快感を調べておく。また足関節を底屈・背屈して前脛骨筋の強張り感を調べる。

第11肋骨が横突起部に接触しているところの外側部、すなわち脊中起立筋の外側部で、11肋骨の下縁に手指あるいは手根の豆状骨を当てて頭方に圧迫して滑り法を行う。

この手技を行いながら中腕穴あるいは腹哀穴を圧迫すると硬結が柔らかくなって圧迫不快感が軽減し、足関節の底屈・背屈を行うと前脛骨筋の強張り感が軽減していることが分かる。

### 3. 治療院川柳

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| ・くち上手 手技の得意は 叩打法  | [おぼんです]  |
| ・指腫れた その後できる プロの指 | [招き猫]    |
| ・広めたい 世間にもっと 00番  | [高齢者マーク] |
| ・細い鍼 何も感ぜず 腹動く    | [ぱびぷべぼ]  |